



小田原教会通信 No. 396

2026. 1. 11 発行

連絡先

キリスト兄弟団小田原教会  
250-0854 神奈川県小田原市飯田岡 336  
牧師 藤波 尚美  
名誉牧師 藤波 勝正、藤波 喜久子  
Tel. 0465-36-1128

## 力の象徴である馬

牧師 藤波 尚美

2026年を迎えました。この年も、皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたします。2026年も「はぴねす」を読み、また、小田原教会の様々な集まりにおいていただけましたら、感謝です。

2026年は干支で言えば午年ですから、年末からいろいろなところで「馬」について見聞きしてきましたが、教会では、干支とは関係なく、年末には「馬」が登場する機会があります。それがクリスマスです。キリストは2000年前にユダヤのベツレヘムで生まれましたが、その場所が「馬小屋」だったとよく言われるからです。実際のところ、聖書には生まれたキリストを「布にくるんで飼葉桶に寝かせた」と書かれているだけなので、その場所が馬小屋だったのかはわかりません。小屋ではなく、洞窟だったとか、家の一部が家畜のスペースになっていて、そこで生まれたなどとも言われます。

---

キリスト兄弟団小田原教会 250-0854  
牧師●藤波尚美 神奈川県小田原市飯田岡336  
名誉牧師●藤波勝正・喜久子 Tel. 0465-36-1128

礼拝

日曜日午前10:30

夕拝

第3日曜日午後3:00

教会学校

日曜日午前9:00

祈り会

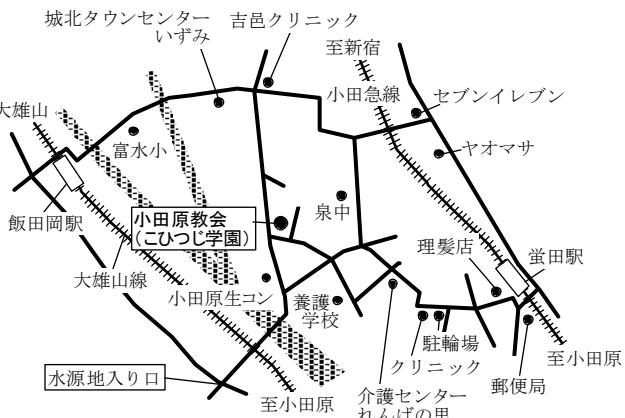
水曜日午前10:00・

午後7:30

母子草会（家族・子育てについて聖書から学びます）

金曜日午前11:00

※状況によって休止の可能性がありますので、お問い合わせください。



大雄山線飯田岡駅・小田急線螢田駅より徒歩10分

※当教会は、キリスト教テレビ番組ライフ・ライン（テレビ神奈川日曜日午前8:30～9:00）、キリスト教放送局FEBC（ラジオ放送AM1566kHz毎日夜9:30～10:45）を支援しています。

ただ洞窟か、小屋か、家の一部か、あるいはそれ以外の場所かもしれません、その場におそらく馬はいなかつたと思われます。というのは、当時の馬は軍馬でしたから、軍馬の馬小屋で庶民のマリアが出産するというのは考えにくいことです。

聖書では、馬は基本的に戦いに関連したイメージや力の象徴として用いられています。その軍事力や力とは、イスラエル人の軍事力というより、イスラエルを脅かす軍事力です。たとえば、エジプトで奴隸にされていたイスラエル人がモーセに率いられてエジプトを脱出したとき、ファラオは軍馬に引かれた戦車の一団を率いて追いかけます。イスラエルの人々はどれほど恐ろしかったことでしょうか。の時は、海の真ん中に道を作るという神の奇跡のわざでイスラエル人は逃げることができ、後を追ってきたエジプトの軍勢は、王も兵士たちも戦車も、そして軍馬も元に戻った海にのまれてしまいました。

その後、イスラエル人は神に導かれて約束の地に定住しますが、周囲の国々よりも馬の導入が遅かったと言われます。その理由としては、山がちな地形だということがあります。それ以上に「王は、決して自分のために馬を増やしてはならない」(申命記 17:16)という律法の教えがあったことが大きいでしょう。国や国民を守るために軍事力を増強するのは王として当然のことですが、そのような目に見える力にのみ拠り頼むのではなく、エジプトの軍勢に追いつめられるという圧倒的に不利な状況からでも救ってくださる神をこそ頼みとすることを聖書は教えています。「ある者は戦車を ある者は馬を求める。しかし私たちは 私たちの神 主の御名を呼び求める」(詩篇 20:7)。

聖書の時代の人にとって、馬は力、頼みとするものの象徴でした。私たちにとっての「馬」、力、拠り所は何でしょうか。それが何であれ、どんな「馬」よりも頼りになるお方、信頼できるお方、天地を造り、私たちをどんな時も守り支えてくださるお方にこそより頼みたいものです。